

第 41 回日本歯科医史学会・第 114 回日本医史学会合同総会 および学術大会次第

◆第 1 日 5 月 11 日（土） 8：30～18：10

8：30～ 受 付

【第 1 会場 富士見ホール】

8：55～9：00 開会の挨拶

9：00～9：40 一般口演（1～3 席）

座長：蔵方宏昌

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1. 近代医学・薬学発祥史 | 辰野美紀 |
| 2. 明治期の日本における入浴に対する認識の変容 | 川端美季 |
| 3. フランス領インドシナのベトナム北部における「産婆」の活用 | 小田なら |

9：45～10：15 大会会長講演

座長：中原 泉

- | | |
|--|------|
| 19 世紀初頭の日本における痘瘡対策 | 西巻明彦 |
| （日本歯科大学新潟生命歯学部客員教授 北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部客員研究員） | |

10：20～11：00 特別講演（1）

座長：酒井シヅ

- 外的表象としての史料—医史学における批判地図学の応用可能性について—
鈴木晃志郎（富山大学人文学部准教授）

11：50～ 合同記念撮影

12：05～12：40 昼 食

12：40～13：20 一般口演（4～6 席）

座長：奥沢康正

- | | |
|---|------|
| 4. 江戸時代の産科手術～回生術の展開と受容をめぐって | 鈴木則子 |
| 5. 過去 33 年間（1980～2012）に報道機関紙（誌）が取り上げた歯科医療事故について | |
| ○加來洋子, 山口秀紀, 卯田昭夫, 石橋 肇, 渋谷 鉦 | |
| 6. 華岡直道の外科の師岩永氏と華岡青洲の外科の師岩永氏について | 松本明知 |

13：20～14：00 一般口演（7～9 席）

座長：樋口輝雄

- | | |
|-------------------------------|------|
| 7. 乃木希典大将の総義歯と上顎石膏模型 | |
| ○大野肅英, 羽坂勇司, 齋藤眞且, 高橋滋樹, 安藤嘉明 | |
| 8. ジョージ・ワシントンと曲亭馬琴の義歯の比較 | 新藤恵久 |

9. ピエール・フォシャール著『歯科外科医』第2版に見られる歯肉疾患, その2 高山直秀

14:00~14:40 一般口演 (10~12 席)

座長: 岡田靖雄

- 10. 富士川游と昭和前期の思潮—1930年代後半を中心に— 土屋 久
- 11. 大川周明と進行麻痺 金川英雄
- 12. 精神衛生法制定以前に廃院となった私立精神病院—鶴森と鷺の湯のケース・スタディ 橋本 明

14:40~15:30 一般口演 (13~16 席)

座長: ヴォルフガング・ミヒェル

- 13. ウィットティントン病院の設立 柳澤波香
- 14. 岡山県邑久郡中島家資料にみる蘭学関係書について ○酒井シヅ, 中島洋一
- 15. 『胎産新書』諸本について—中島家所蔵本を中心に— 清水信子
- 16. 中島家にある「解体新書」とその書き込みからわかること ○板野俊文, 中島洋一

15:30~16:30 一般口演 (17~21 席)

座長: 松木明知

- 17. 公害・労働災害・医害の精神医学的側面—戦後精神科医療史覚え書き (その1)— 岡田靖雄
- 18. 本邦において正統の整形外科学を確立した神中正一 (1890-1953) (その一) 小林 晶
- 19. 九州大学医学部・日本甲状腺学会共催「橋本病百周年記念事業」報告 佐藤 裕
- 20. 外科起廃図譜〜世界で最初の全身麻酔の図譜は日本で著された! ○土手健太郎, 長櫓 巧
- 21. 眼科手術用メスの開発経過について 園田真也

16:30~17:20 一般口演 (22~25 席)

座長: 月澤美代子

- 22. トマス・シデナム (1624-1689) の『処方集約 Processus integri』 坂井建雄
- 23. レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖手稿 KP162r の制作プロセス 永田和弘
- 24. 16世紀におけるガレノス解剖学の受容の多様性 澤井 直
- 25. Leiden 大学に所蔵されるレメリン解剖書2書と『和蘭全軀内外分合図』について 渡部幹夫

17:20~18:10 一般口演 (26~29 席)

座長: 坂井建雄

- 26. ポンペの講義録, 外科手術篇の原典はディーフェンバッハの『外科手術学』である 相川忠臣
- 27. 『布列私解剖圖・完』(全二巻)とその原著である Fles の解剖学書について 島田和幸
- 28. 近代中国における pancreas の受容について ○松本秀士, 坂井建雄
- 29. 明治初期日本における西洋解剖学的人体イメージの普及過程—上田文齋の内臓図— 月澤美代子

【第2会場 九段ホール】

9:00~9:50 一般口演 (30~33 席)

座長: 宮川浩也

- 30. 営衛と両焦—三焦概念の変遷についての考察— 林 孝信

- | | |
|-------------------|------|
| 31. 『診切枢要』の脈法 | 中川俊之 |
| 32. 「下竄」について | 奥野繁生 |
| 33. 「口乾」と「口渴」について | 渡部栄輝 |

9:50~10:50 一般口演 (34~38 席)

座長：鈴木達彦

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| 34. 江戸時代における毒の言説と病：『養生訓』の事例をもとに | 大道寺慶子 |
| 35. 天応穴について | 宮川浩也 |
| 36. 「三人図」について | 寺川華奈 |
| 37. 杉山流鍼治御用学問所の由来を記した『杉山先生御伝記』の調査研究 | ○大浦宏勝, 市川友理 |
| 38. 『高等鍼灸学講義』の「鍼治学・灸治学」について | 宮川隆弘 |

10:50~11:30 一般口演 (39~41 席)

座長：小室歳信

- | | |
|---|------|
| 39. 歯科充填材料の発展 | 平田幹男 |
| 40. 日本大学歯学会機関誌の発行と変遷について | |
| ○工藤逸郎, 三宅正彦, 見崎 徹, 小室歳信, 若松佳子, 下山哲夫, 会田卓久, 松江高光, 小田泰之, 関根光治, 和田雅彦, 武田秋生, 岩成進吉 | |
| 41. 日本歯科口腔科学会創立総会議事録について—学会名称に関する議事を中心に— | |
| ○山口秀紀, 加來洋子, 下坂典立, 鈴木正敏, 渋谷 鉦 | |

13:00~13:50 一般口演 (42~45 席)

座長：浦山きか

- | | |
|---|-------|
| 42. 北宋の医官教育と医書出版 | 真柳 誠 |
| 43. 『幼幼新書』宋版巻38と明抄本巻38との比較 | 川端かおり |
| 44. 『御製本草品彙精要』編纂の序幕—『孝宗実録』弘治16年8月9日の条をめぐって— | |
| | 土屋悠子 |
| 45. 新出の『素女妙論』写本二種について | 永塚憲治 |

13:50~14:40 一般口演 (46~49 席)

座長：田中祐尾

- | | |
|--|-------|
| 46. 『医心方』巻三における引用書の配列についての考察 | 島山奈緒子 |
| 47. 『万安方』所引の『可用方』について | 郭 秀梅 |
| 48. 『内経抜書』(内閣文庫所蔵)と『内経病機撮要』(森嶋玄勝訓釈)の比較 | 吉川澄美 |
| 49. 『病名纂』について | 竹内 尚 |

14:40~15:20 一般口演 (50~52 席)

座長：猪飼祥夫

- | | |
|--------------------------|-------|
| 50. 『体雅』の編纂と諸本の関連 | 浦山きか |
| 51. 研医会図書館所蔵の林用之稿本『辛酉漫録』 | 安部郁子 |
| 52. 中国本草の中心地について | 岩間眞知子 |

15:20~16:00 一般口演 (53~55 席)

座長：遠藤次郎

- | | |
|--------------------------|------|
| 53. 田代三喜の察証弁治における刻と牛八の意義 | 鈴木達彦 |
|--------------------------|------|

54. 『医学天正記』に記された人物たちの治験録とその時代背景

葉山美知子

55. 脈学における曲直瀬道三の業績

吉岡広記

16：00～16：40 一般口演（56～58席）

座長：星野卓之

56. 秦宗巴（1550-1607）に関する新知見

アンドリュー・ゴープル

57. 曲直瀬玄朔の門人について

山田恵美

58. 古方派黎明期における張仲景関連書の扱い

○松岡尚則, 別府正志, 並木隆雄, 山口秀敏, 中田英之, 頼 建守,
笛木 司, 安部郁子, 岩井祐泉, 牧角和宏, 秋葉哲生

16：40～17：30 一般口演（59～62席）

座長：真柳 誠

59. 防長の医家四熊家および浅山家の旧蔵書資料について

○中澤淳, 亀田一邦

60. 下張り文書から垣間みた今泉元甫

鈴木友和

61. 小島寶素堂の終焉—小島尚綱と森鷗外『小嶋寶素』

多田伊織

62. 高松凌雲訳“保嬰新書 舌帯之説の章”について

○福本雅文, 池田貴裕, 田中晃伸

17：30～18：10 一般口演（63～65席）

座長：大浦宏勝

63. 『回回薬方』の鍼灸門について

猪飼祥夫

64. 『古今医統大全』の鍼灸について（第3報）

田中利江子

65. 『瘍医證治準繩』の鍼灸

上田善信

19：00～20：30 懇親会

ホテルメトロポリタンエドモント

◆第2日 5月12日（日） 8：30～16：30

8：30～ 受付

【第1会場 富士見ホール】

9：00～9：40 一般口演（66～68席）

座長：川島真人

66. 福岡県立医学歯学専門学校の短い歴史

○小林 繁, 倉沢良典, 上瀉口 武

67. 『福岡医科大学醫院耳鼻咽喉科手術候補簿』明治40（1907）年—明治44（1911）年

○丸山マサ美, 小宗静男, 吉田眞一

68. 慶應義塾出身名流列傳に見られた済生学舎長谷川泰と泰に纏わる幾らかの書簡

○志村俊郎, 都倉武之, 西澤直子, 唐澤信安, 山本 鼎, 殿崎正明

9：40～10：30 一般口演（69～72席）

座長：瀧澤利行

69. 日本医科大学初代学長中原徳太郎について

○殿崎正明, 唐沢信安, 山本 鼎, 幸野 健, 志村俊郎

70. 学生騒動で存亡のかかった日本医学専門学校における評議委員会の果たした役割

○山本 鼎, 唐沢信安, 志村俊郎, 幸野 健, 殿崎正明

71. 占領期の特設旧制高校, 東洋高等学校(理科乙類)(2)

永藤欣久

72. 川瀧ミツエと東洋女子歯科医学専門学校

川瀧真人

10:30~11:30 一般口演(73~77席)

座長: 関根 透

73. 東京医科歯科大学歯学部解剖学教室が収蔵するゾウの頭蓋骨について

○秋本和宏, 阿部達彦

74. 一井正典・生誕150周年=維新の若きサムライ=

○松本晋一, 井手祐二

75. 新島迪夫著「口腔組織学 口腔編」について

○阿部達彦, 秋本和宏

76. 王朝文学時代の歯科医療~その2

東 智

77. サメの歯と天狗

松山知明

11:30~12:20 一般口演(78~81席)

座長: 小林 晶

78. 明治18年に東京府が実施した郡区医採用試験について

樋口輝雄

79. 公益法人改革の結果(1)—戦前からの法人の消長—

宮武光吉

80. 医療宣教師“John C. Berry”がめざした医学校設立運動について

布施田哲也

81. 男産婆と見做された産科医山本玄齊

佐藤ゆかり

12:20~13:00 昼 食

11:45~12:30 役員会(2階 第1会議室)

12:30~12:50 総 会(2階 第1会議室)

13:00~13:50 一般口演(82~85席)(兼:市民公開講座)

座長: 渋谷 鉦

コメンテーター: 森 治郎

82. 渋谷榮一の第三回パリ万博参加体験と明治前期の福祉・医療事業への関与について

○稲松孝思, 松下正明

83. パリにおける医学史関連史跡・博物館の現況

牧野 洋

84. 歯科医院があった街角—近代都市景観の構成要素としての歯科医院の変遷を追って

竹原直道

85. 本学の学生・教職員を対象とした「歯科医学歴史散歩」について

○石橋 肇, 那須郁夫, 渋谷 鉦

【第2会場 九段ホール】

9:00~9:40 一般口演(86~88席)

座長: 町 泉寿郎

86. 道教と中国伝統医学(第33回☆道教医学の歴史—2)

吉元昭治

87. 古代中国における名医伝の系譜

坂出祥伸

88. いわゆる『儒醫』についての考察— II 儒葬

田中祐尾

9：40～10：40 一般口演（89～93席）

座長：青木歳幸

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 89. 近世後期の秋田藩による医療政策の展開 | 藤本大士 |
| 90. 濃州郡上城下『医師成願之事』 | 森永正文 |
| 91. 江戸後期における病気見舞と医療情報交換について | ウィリアム・エヴァン・ヤング |
| 92. 『八丈島年代記』からみた疫病・疱瘡の歴史 | 對馬秀子 |
| 93. 幕末の佐賀藩が所有していたオランダ語の医学書 | 小澤健志 |

10：40～11：40 一般口演（94～98席）

座長：新村 拓

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 94. 華岡青洲に宛てた杉田玄白の書簡 続報 | 長谷川 弥 |
| 95. 服部宗賢（1752～1820）文書の研究 | 町 泉寿郎 |
| 96. 明治・大正期の『家政学』出版書にみる終末期の看取り観 | ○上坂良子, 水田真由美, 窪島領子 |
| 97. 緒方洪庵『虎狼痢治準』（安政5年）にみるコレラの看護法 | 平尾真智子 |
| 98. アトピー性皮膚炎の「ア」と阿弥陀仏の「阿」は同じ意味である | ○藤岡 彰, 藤岡和美 |

11：40～12：20 一般口演（99～101席）

座長：鈴木晃仁

- | | |
|--|-------------------|
| 99. 戦前・占領期を含む沖縄の平均寿命の年齢構造
一水島生命表, 琉球政府生命表を用いて一 | 逢見憲一 |
| 100. ペスト菌（PX）撒布による「細菌戦」戦果の実相
一「陸軍軍医学校防疫研究報告」掲載の高橋正彦論文から | 蒔 昭三 |
| 101. 占領期の日本脳炎対策に関する GHQ/SCAP/PHW の活動についての考察 | ○杉田 聡, 田中誠二, 丸井英二 |

【第1会場 富士見ホール】

14：00～16：30 特別講演（2）（3）（4）（兼：市民公開講座）

特別講演（2）

座長：津谷喜一郎

漢方医学の特質

花輪壽彦（北里大学東洋医学総合研究所所長）

特別講演（3）

座長：石井拓男

19世紀の武士社会と医学・歯科医学をめぐって

磯田道史（静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科准教授）

特別講演（4）

座長：深瀬泰旦

江戸時代の病い

酒井シヅ（日本医史学会理事長）

16：30～

次期大会会長挨拶

医史学会理事長挨拶

閉会の挨拶

【誌上発表】

102. 冠動脈；Ibn Nafis から Jenner まで

藤倉一郎

103. 東京市における明治女医の臨床研修病院 三崎裕子
104. 出雲岩崎家所蔵の古医書 ○天野陽介, 小曾戸 洋
105. 『針別伝奥義之次第』について 岩田源太郎
106. 歴代漢方処方集の比較検討 (第1報)
○大津幸恵・小曾戸 洋・渡辺浩二・野澤隆幸・星野卓之・花輪壽彦
107. 西鶴作品にみる身体に関する語 (一) 計良吉則
108. 金沢文庫旧蔵の医薬書 ○小曾戸 洋, 花輪壽彦
109. 『類証弁異全九集』の鍼灸条文 木場由衣登
110. 橋田邦彦の音楽論 佐々木 (勝井) 恵子
111. 医業類似行為者について 清野充典
112. 『骨度正穴考図』について 鶴田泰平
113. 足利学校遺蹟図書館所蔵の医薬書 ○野澤隆幸, 小曾戸 洋, 花輪壽彦
114. 『類説』に見える医経の引用について 橋本典子
115. 慶長古活字版『重編医経小学』の鍼灸歌賦について 橋本史代
116. 『医心方』における当帰の応用 ○星野卓之, 小曾戸 洋, 花輪壽彦
117. 『鍼法秘伝鈔』について 山崎陽子
118. 服部甫庵編『医官要編』と浅田宗伯 渡辺浩二
119. 華佗の治療にみる夾脊穴の運用 ○周防一平・小曾戸 洋・天野陽介